

教科	技術・家庭科	分野等	技術分野
学年	第 2 学年	授業時数	35 時間
教科書	「技術・家庭 技術分野」 開隆堂	副教材	「技術・家庭ハンドノート」 正進社
授業者			

年間の到達度目標	<p>(1) 生物育成に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得させるとともに、生物育成の技術が社会や環境にはたす役割と影響について理解を深め、それらを適切に評価し活用する能力を育成する。</p> <p>(2) コンピュータにおける基本的な情報処理の仕組みと、情報通信ネットワークにおける安全な情報利用の仕組みについて知ることができるとともに、社会や環境とのかかわりから、情報に関する技術を適切に評価し、活用することができる。</p> <p>(3) エネルギー変換に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させるとともに、エネルギー変換に関する技術が社会に果たす役割と影響について理解を深め、それらを適切に評価し活用する能力と態度を育成する。</p>
----------	--

月	単元・題材	小単元	時数	評価規準	主な評価方法
年間	C(2)生物を育てるための計画と管理	1 私たちの生活と生物育成	2	(知) 生物育成の意味と生活とのかかわりを知り、育成する生物の特性が生物育成の技術とのかかわっていることを知る。	観察・ノート・レポート
		2 生物の育成	1	(工) 生物育成のサイクルとその技術を知り、育成計画を構想する。	
		3 作物の栽培	6	(知) 作物の生育条件と栽培に適した環境条件を理解し、管理作業・必要な資材や用具についての知識を身につけている。 (技) 目的や条件に応じた適切な植え付けと、その後の適切な生育管理・収穫ができる。	
	C(1)生物を育てる技術の評価・活用	1 社会・環境とのかかわりを考える	1	(工) 生物育成に関する技術の適切な評価活用について主体的に考えている。	ノート・発表
		2 生物育成の技術と私たち		(知) 生物育成に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解している。	
4 月	D(1)アイウコンピュータと情報通信ネットワークの活用	2 情報を伝える仕組みとインターネットの活用	2	(知) 情報通信ネットワークの構成と、安全に情報を利用するための基本的な仕組みについての知識を身につけている。	観察・ノート・ワークシート・作品
5 月		3 情報通信ネットワークと情報セキュリティ	2	(工) ネットワーク利用時の危険性を知り、安全に情報を利用しようとしている。	
6 月	D(2)デジタル作品の設計・製作	4 デジタル作品の設計と製作	4	(技) 適切なソフトウェアを用いて多様な表現手段を複合し、表現や発信ができる。 (工) 情報に関する技術の利用場面に応じて適正に活動している。	
7 月	★B(2)アイエネルギーの変換・利用と保守点検	1 私たちの生活とエネルギー変換	2	(知) 社会で利用されている機器等における、エネルギーの変換、制御、利用についての知識を身につけている。 (工) エネルギー変換効率について理解し、エネルギーを有効に活用する方法を考えている。	観察・発表・ノート
9 月		2 電気エネルギーの利用	2	(工) 電源の特徴を知り、どのように使い分ければよいか考えている。	
10 月		3 動力の利用	1	(知) 力や運動を伝達する仕組みの特徴や共通部品についての知識を身につけている。	
11 月		4 エネルギー変換の実際	2	(知) 機器の構造や電気回路、定格表示や許容電流の表示などの知識を身につけている。 (技) 機器の点検すべき箇所を見つけ、保守点検と事故の防止ができる。	
1 月	B(2) 製作品の設計・製作	1 エネルギー変換を利用した製作品を作ろう	8	(工) 製作品に適したエネルギーの変換方法や力の伝達の仕組み、構造や電気回路などを決定している。 (技) 設計に基づき、安全を踏まえた製作品の組立て・調整や、電気回路の配線及び回路計などを用いた点検ができる。	観察・ワークシート・作品
2 月				(知) 組立てや調整に必要な工具や機器の適切な使用方法についての知識を身につけている。	
3 月	B(1)ウエネルギー変換技術の評価・活用	1 社会・環境とのかかわりを考える 2 エネルギー変換の技術と私たち	2	(関) 課題を進んで見つけ、比較・検討しようとするとともに、適切な解決策を示そうとしている。 (知) エネルギー変換に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解している。	発表・ノート
指導方法の工夫改善等		視聴覚機器・教材の活用 実験機器・教材の活用			
課題・提出物等		ノート・ファイル点検			
未到達者への対応		放課後等を活用して補充学習			